Creative Enzymes®

ネイティブ スタフィロコッカス アウレウス スフィンゴミエリナーゼ

Cat. No. NATE-0673

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	スフィンゴミエリンホスホジエステラーゼは、スフィンゴ脂質代謝反□に関与する加水分解酵素です。SMaseはDNase Iスーパーファミリーの酵素の一員であり、スフィンゴミエリン（SM）をホスホコリンとセラミドに分解する役割を担っています。SMaseの活性化は、細胞ストレスに□じたセラミドの生成の主要な□路として提案されています。
別名	スフィンゴミエリンホスホジエステラーゼ; EC 3.1.4.12; 中性スフィンゴミエリナーゼ; 9031-54-3; スフィンゴミエリンコリンホスホヒドロラーゼ; スフィンゴミエリナーゼ; SMase

製品情報

由来	黄色ブドウ球菌
形態	緩衝された水性グリセロール溶液; 0.25 Mリン酸緩衝液を含む50%グリセロールの溶液、pH 7.5
EC番号	EC 3.1.4.12
CAS登□番号	9031-54-3
活性	100-300 ユニット/mg タンパク質 (Lowry)
単位定義	1ユニットは、37°CでpH 7.4の条件下で1分あたり1.0 µmolのTNPAL-スフィンゴミエリンを加水分解します。

保管・発送情報

保存方法	2-8°C